

## トランプ大統領来日に伴う警戒警備の強化について ～構成機関の皆様へのごお願い～

トランプ大統領は、日米首脳会談等のため、**本年11月5日**に来日する予定です。

道警察では、関連施設等に対する警戒強化等の警備諸対策を推進しておりますが、構成機関の皆様方におかれましても、下記“トランプ大統領来日をめぐる警備情勢”を認識していただき、引き続き、自主警備の強化等テロの未然防止に向けた諸対策の徹底をお願いいたします。



### トランプ大統領来日をめぐる警備情勢

#### ○ 国テロ・北朝鮮情勢

イスラム過激派組織は、インターネットを通じて公表される幹部の声明やオンライン機関誌で世界のイスラム教徒に向けて、米国等に対するテロを実行するよう呼び掛けています。中でもISILは、爆弾や銃器が入手できない場合には、車両、刃物等を用いてテロを実行するよう呼び掛け、実際にこれに呼応した可能性のあるテロ事件も発生しており、こうした中でのトランプ大統領来日は、イスラム過激派がこの機会を捉え、トランプ大統領や我が国の米国関連権益等に対する違法行為に関与する可能性も否定できません。

また、トランプ大統領は、9月19日国連総会での演説で、北朝鮮に対する軍事的攻撃を示唆する発言を行うとともに、金正恩朝鮮労働党委員長を「ロケットマン」と呼ぶなどし、北朝鮮はこれを自国に対する宣戦布告、最高尊厳に対する侮辱とみなし、9月21日付の国務委員会委員長声明等により報復を示唆するなど、米国及びトランプ大統領に対する対決姿勢を強める動きを見せています。

#### ○ 右翼等の情勢

広島及び長崎への原爆投下等を批判する右翼は、過去の米国大統領来日時に街頭宣伝活動のほか、大統領の訪問先への接近を図る中で、大統領の講演会場への侵入事件（平成5年7月）や大統領が訪問する米国企業へのペンキ投てき事件（平成8年4月）を敢行しています。

こうした右翼は、トランプ大統領来日を捉えて、抗議行動を行う可能性があり、その過程でテロ等重大事件の発生も懸念されます。

#### ○ 極左暴力集団・日本赤軍の情勢

極左暴力集団は、平成26年のオバマ大統領来日に際して、集会、デモ等の反対行動に取り組んでおり、今次来日に際しても反対行動に取り組むことが予想されます。また、革労協反主流派は、過去、米国大統領来日に際し「テロ、ゲリラ」事件を引き起こしています。

日本赤軍は、トランプ大統領来日に伴いテロ攻撃を敢行するとの具体的な情報はありませんが、7人のメンバーが依然として逃亡中であり、中東政策等に対しては一貫して批判的な立場を堅持しており、実際に米国権益を狙ったテロ攻撃を敢行しています。

#### ○ サイバー攻撃情勢

昨今、政府機関、重要インフラ事業者等のシステムをダウン・破壊させ、又は情報を窃取するサイバー攻撃が世界的に頻発しています。また、北朝鮮は国連安全保障理事会の決議を受け対抗姿勢を強めており、日本や米国の政府機関などを対象にサイバー攻撃を行う準備をするよう指示が出ているとの報道もあります。このような状況の中、トランプ大統領来日の機会を捉えたサイバーテロや警備対象施設を狙ったサイバー攻撃が敢行される可能性は否定できません。

**テロはいつ・どこで起きるかわかりません、万全なテロ対策の徹底をお願いします！**